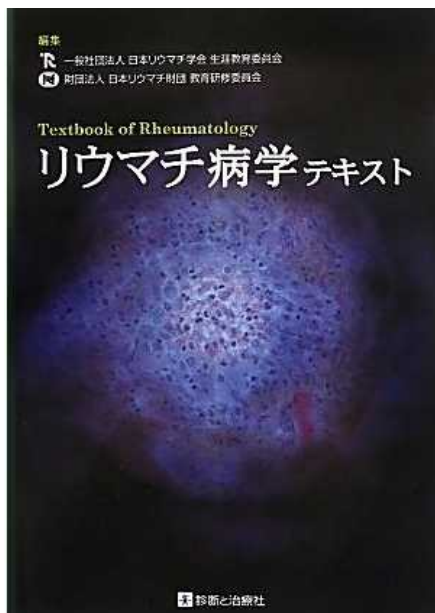


新刊！『リウマチ病学テキスト』



～リウマチ病学の新たなテキストが発刊されました～

◆編集：

一般社団法人 日本リウマチ学会 生涯教育委員会
財団法人 日本リウマチ財団 教育研修委員会

◆定価：5,250 円（本体 5,000 円＋税 5%）

◆ISBN：978-4-7878-1759-4

◆B5，534 頁

◆発行日：2010 年 9 月 10 日

◆発行：株式会社診断と治療社

★最寄りの医学書専門書店、もしくはインターネットにて
お買い求めください。

■■■ 編集委員会からの序文 ■■■

この度、日本リウマチ学会と日本リウマチ財団の協力のもと、新しい『リウマチ病学テキスト』を世に送ることができました。リウマチ病学は以前より、多くの原因不明の疾患を抱え、診断・治療を含めたトータルな医療がむずかしい領域でした。しかし、最近の生物学的製剤を含めた新しい治療法の導入により、より目標を明確にした治療が可能となりつつあり、一つの突破口ができたといってもよいかもしれません。多くの新しい情報が発信されている領域です。しかし、リウマチ診療に携わる者にとって何といっても重要なことは、領域全体のしっかりした基本的な考え方に基づく診断、治療法の適正な選択とその後のモニターなど、臨床力の総合的な向上でありましょう。さらに将来の飛躍に向けた研究のマインドも忘れてはなりません。

このテキストは日本リウマチ学会が定めるリウマチ専門医の資格取得のための基本的なテキストとしての位置づけをしています。専門医を目指す医師にとってはまず到達すべき目標となり、さらに、すでに専門医になられた医師には知識の整理や確認に役立てていただき、そしてリウマチを専門とされない方が参照されるテキストとしても機能することが期待されます。

本テキストは従来の『リウマチ基本テキスト』の流れを汲むとはいえ、今回全く新しい構想をもとにスタートしたものです。全体の統一を図るため、またレベルを一定に保つため、執筆者の方々には編集者から多くの注文をさせていただきました。大変ご面倒をかけたことをこの場をかりてお詫び申し上げます。編集に際しては編集委員会のメンバーによるセクションごとの査読、全体の査読などのチェックを行いました。しかしそれでも、おそらく読者の皆様が読み進めるにつれ、不備な点や誤りなどが見つかるかと思えます。ぜひ、それらの情報をお寄せいただき、次回の改訂に向けた体制を構築していきたいと考えております。日本リウマチ学会 生涯教育委員会と日本リウマチ財団 教育研修委員会がその任にあたる所存であります。

2010 年 9 月

編集委員を代表して

財団法人 日本リウマチ財団 教育研修委員会 委員長 山本一彦
一般社団法人 日本リウマチ学会 生涯教育委員会 委員長 豊島良太

■■■ 『リウマチ病学テキスト』 目次 ■■■

A リウマチ性疾患へのアプローチ			J 骨疾患		
1 筋骨格系の検査	5 強皮症		1 骨粗鬆症とその類縁疾患		
2 血液の臨床検査	6 多発性筋炎/皮膚筋炎		2 骨壊死		
3 病理学的アプローチ	7 混合性結合組織病/overlap 症候群		K その他の疾患		
4 関節穿刺法	E 血管炎		1 Behçet 病		
5 関節鏡検査	1 血管炎——総論		2 再発性多発軟骨炎		
6 関節炎へのアプローチ	2 高安動脈炎		3 リウマチ熱		
7 若年性関節炎へのアプローチ	3 巨細胞性動脈炎（側頭動脈炎）/リウマチ性多発筋痛症		4 線維筋痛症		
8 上肢の痛みへのアプローチ	4 川崎病		5 複合性局所疼痛症候群		
9 下肢の痛みへのアプローチ	5 結節性多発動脈炎		6 好酸球性筋膜炎		
10 脊椎の痛みへのアプローチ	6a ANCA 関連血管炎——総論		7 肥厚（大）性骨関節症		
11a 妊娠とリウマチ性疾患——全身性エリテマトーデス	6b ANCA 関連血管炎——Wegener 肉芽腫症		8 神経病性関節症		
11b 妊娠とリウマチ性疾患——抗リン脂質抗体症候群	6c ANCA 関連血管炎——顕微鏡的多発血管炎		9 結節性紅斑をきたすリウマチ性疾患		
11c 妊娠とリウマチ性疾患——関節リウマチ	6d ANCA 関連血管炎——Churg-Strauss 症候群		10 滑液包炎		
12 リウマチ性疾患の皮膚病変のみかた	7a 免疫複合体に起因する血管炎——クリオグロブリン血症		11 腱鞘炎		
B 関節リウマチと類縁疾患			12 リウマチ性疾患と絞扼性神経障害		
1 関節リウマチ——病態、臨床所見、診断	7b 免疫複合体に起因する血管炎——過敏性血管炎		13 自己炎症性症候群		
2 関節リウマチ——疾患活動性の評価	7c 免疫複合体に起因する血管炎——Henoch-Schönlein 紫斑病		14 IgG4 関連疾患		
3 関節リウマチ——内科的治療	7d 免疫複合体に起因する血管炎——低補体性尋麻疹様血管炎		L リウマチ性疾患への整形外科的アプローチ		
4 関節リウマチ——外科的治療	8a その他の血管炎——中枢神経系の血管炎		1 運動器の外科的療法		
5 関節リウマチ——リハビリテーション	8b その他の血管炎——Cogan 症候群		2 運動器のリハビリテーション		
6 悪性関節リウマチ	9 Buerger 病		M リウマチ性疾患に使用される薬剤、治療法		
7 Felty 症候群	F 変形性関節症		1 非ステロイド抗炎症薬		
8 成人発症 Still 病	1 変形性関節症——総論		2 ステロイド		
9 若年性特発性関節炎	2 変形性関節症		3 メトトレキサート		
10 リウマチ性多発筋痛症	3 全身性変形性関節症		4 その他の抗リウマチ薬		
11 RS3PE 症候群	G 結晶誘発性関節症		5 カルシニューリン阻害薬		
12 回帰性リウマチ	1 痛風		6 シクロホスファミド		
C 脊椎関節炎と類縁疾患			7 その他の免疫抑制薬		
1 脊椎関節炎——総論	2 ピロリン酸カルシウム結晶沈着症（偽痛風）		8 免疫グロブリン静注療法		
2 強直性脊椎炎	3 その他の結晶誘発性関節症		9 生物学的製剤		
3 乾癬性関節炎	H 感染性関節炎		10 抗痛風薬		
4 掌蹠膿疱症性関節炎	1 細菌性関節炎		11 ビスホスフォネート		
5 SAPHO 症候群	2 結核性関節炎		12 骨疾患に対するその他の薬剤		
6 反応性関節炎（Reiter 症候群）	3 真菌性関節炎		13 血液浄化療法		
7 炎症性腸疾患関連関節炎	4 スピロヘータ関節炎		N リウマチ性疾患に対する社会的・公的支援		
D 全身性自己免疫疾患			1 リウマチ性疾患に対する社会的・公的支援		
1 全身性エリテマトーデス——病態、臨床所見、診断	5 ウイルス感染と関節炎				
2 全身性エリテマトーデス——活動性の評価と治療	I 全身性疾患に伴う関節炎				
3 抗リン脂質抗体症候群	1 サルコイドーシス				
4 Sjögren 症候群	2 内分泌・代謝疾患				
	3 悪性腫瘍、血液疾患				
	4 アミロイドーシス				